

「税の作文」で 優秀賞と奨励賞の ダブル受賞

毎年、中学生に税の大切さを知ってもらう目的で行われている「税についての作文」コンクール。

香取管内の中学校より応募された146点の作文の中から、厳正審査のもと、神崎中3年生の田崎愛美さんと秋葉千尋さんが佐原税務所管内納税貯蓄組合連合会優秀賞を受賞しました。田崎さんの作文はさらに千葉県納税貯蓄組合総連合会審査に推薦され、奨励賞も受賞しました。平成19年度、入賞を果たした田崎さんの作文を紹介します。



神崎中学校
3年C組
田崎愛美さん

税の大切さ

私は、「税」というものが、なぜ存在するのか、また、何のために納めているのかは、知らなかったし、あまり考えたことも

ありませんでした。私が知っていたのは、納税は、国民の義務であるということでした。

学校の社会の時間、国民の義務というものを知りました。国民の義務のなかには、納税の義務というものがあります。納税の義務というのは、働いて収入のある人がお金を税として納めるということです。私は、たくさんの大人達は、生活ができるために働いているけど、税金を納めるためにも働いているんだなと思いました。

自分が家にいる時、よく納税貯蓄組合の人が、集金にきます。その集金されたお金は、納税貯蓄組合長さんに届けられるそうです。そして、納税貯蓄組合長さんは、銀行へ積みこみます。さらに、銀行から、税金として役場へ納められるそうです。そこで、初めて納税の義務が果たされることになりました。

納められた税金は、町が予算を立て、さまざまなことに使います。例えば、道路の舗装をしたり、小・中学校などの施設を建てたりするのに使います。また、お年寄りのための循環バスにも使われていることがわかりました。しかし、税金を無駄に使い、町の住民から反対されているニュースをテレビで見たことがあります。私は、頑張って働いたお金で税金を払っているのだから、無駄に使ってほしくはないと思います。これからは、住民の声に

耳を傾けて、もっと住民が幸せになれるような使い方を町は、してほしいと思いました。

また、税には消費税というものがあり、買い物をする時には、必ず払います。現在は、消費税が5パーセントですが、年金や、老人福祉のために、消費税の引き上げが議論されています。正直なところ、最初は、引き上げることには反対で、現状のままで良いと思っていましたが、自分が、年をとった時に、年金がもたらえなくなるということを考えると、引き上げざるを得ないと思うようになりました。また、少子高齢化が進んでいるので老人福祉の充実のためにも、消費税は重要なものになると思います。

その他にも、所得税や、法人税などがあることを知りました。所得税は所得額により、所得の多い人ほど多額の税金を納めます。法人税は、会社の利益によって、納める税金が違います。これらの税金によって、国の財政が成り立っているのです。このような税金は、広く国民が負担する仕組みになっていることがわかりました。

私は、税のことを何もわかっていませんでしたが、税の重要性を知ることができました。自分が納税者になったら、税金をきちんと払い国民としての義務を、しっかりと果たしていきたいと思います。

**要介護
高齢者が
障害者控除の
対象になります！**



要介護認定者等で、町が認定する「障害者控除対象者認定書」の適用を受けたときは、身体障害者に準ずる者として、身体障害者手帳の交付を受けている人と同じように、所得税や町県民税の控除が受けられます。

対象者 満65歳以上で要介護・要支援認定を受けている方で、寝たきりの状況や認知症の程度が一定以上の方

手続方法 町保健福祉課に障害者控除対象者認定書の交付申請をしてください。認定基準を満たしたときは、認定書が交付されます。申告時に認定書を提出して、障害者控除を受けます。お問い合わせ 保健福祉課 介護保険係 ☎ 1607